

「トンネル切羽前方探査」講演会

主催 一般財団法人災害科学研究所・同トンネル調査研究会

後援 (公社)土木学会関西支部、(公社)地盤工学会関西支部、(公社)物理探査学会
(一社)日本応用地質学会関西支部、(一社)建設コンサルタンツ協会近畿支部
関西地質調査業協会、(一社)日本トンネル技術協会

主旨 昨今、山岳トンネルを安全かつ効率的に掘削するためには切羽前方の地山状況を事前に確認することが重要であることが広く認識され、反射法探査や削孔検層などの切羽前方探査が積極的に活用され始めています。これらの探査手法については、施工サイクルへの影響を極力少なくすること、探査精度の向上を図ること、探査深度の拡大を図ることなどをテーマとして、日々開発・改良が進められています。さらに、新しい発想に基づき、切羽前方の地山を評価する手法も実用化されつつあります。

本講演会では、削孔検層、反射法探査、および計測に基づく、最新の切羽前方地山予測手法の技術的發展と適用性についての講演を行い、意見交換の場といたします。皆様奮ってご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

日程 平成 26 年 4 月 11 日 (金) 13:00~17:30 (受付開始 12:30)

会場 大阪大学中之島センター10階メモリアルホール
〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-53 TEL 06-6444-2100
(<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/>)



CPD 土木学会認定 4.3 単位 (JSCE13-0922), 全国土木施工管理技士会連合会認定 4.0 単位 (245082)

プログラム

時間	内容	講師
13:00~13:10	委員長挨拶	松井 保(災害科学研究所理事長)
一般講演 (講演30分+質疑5分)		
13:10~13:45	トンネルトモグラフィ探査の開発と適用事例	山本拓治 (鹿島建設株)
13:45~14:20	汎用性の高い弾性波反射法探査 (SSRT) の開発と適用事例	丹羽廣海 (株フジタ)
14:20~14:55	掘削発破を用いた切羽評価システム「トンネル フェイステスター」の開発	山本浩之 (株安藤ハザマ)
14:55~15:30	坑内計測による切羽前方地質評価の可能性	谷 卓也 (大成建設株)
15:30~15:40	休憩	
15:40~16:15	ノンコア削孔切羽前方探査技術 (トンネルナビ) による高精度地山評価	畑 浩二 (株大林組)
16:15~16:50	さく孔データを用いた切羽前方探査 (DRISS)	山下雅之 (西松建設株)
特別講演		
16:50~17:30	リニア新幹線の開発	朝倉俊弘 (京都大学)

参加費 3,000 円 (資料代含む)

参加申し込み 参加申込書(別紙)に必要事項をご記入の上、FAX または電子メールでお申込み下さい。申込締切 3 月 31 日、定員 150 名 (申込多数の場合は定員で締切りとさせていただきます。)

申込先 (一財) 災害科学研究所 ホームページ <http://csi.or.jp/>
TEL 06-6202-5602 FAX 06-6202-5603
E-mail saiken@csi.or.jp

参加申込書

参加ご希望の方は、本申込書にご記入の上、FAX または E-mail でお申込ください。
会費は下記振込先にお振込みのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「切羽前方探査」講演会 4月11日（金）開催

担当者氏名	e-mail	電話番号	FAX 番号
所属		住所	
講演会参加者氏名	所属		
講演会 3000 円 × 人 = 円 : お振込み金額 円			

※ 個人情報、当法人が実施・共催等を行なう事業・会合等の情報提供以外には使用致しません。

参加費： 講演会 3,000 円／人

申込先： 災害科学研究所 TEL: 06-6202-5602 FAX: 06-6202-5603
E-mail: saiken@csi.or.jp

振込先： 三菱東京UFJ銀行 中之島支店
普通 1040798 一般財団法人災害科学研究所 理事長 松井 保



会場地図